

# 平成28年度 竹田教育事務所管内 第1回地域授業改善協議会

期日：平成28年4月26日（火） 場所：豊後大野市立朝地公民館

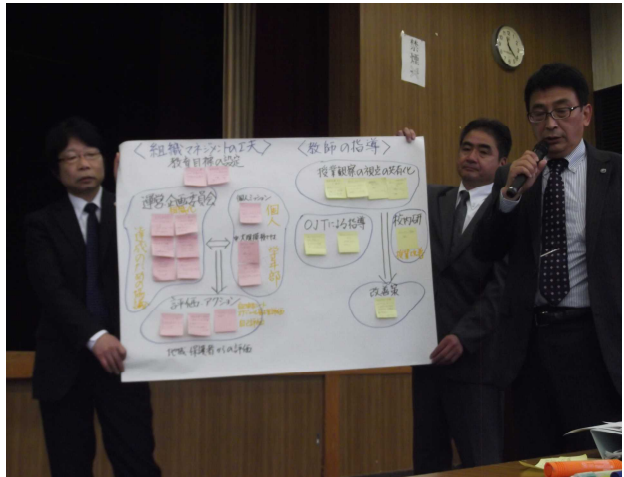
## ＜協議会評価シート 参加者の声＞

### 【説明】『目標達成マネジメントツールの連動性確保』

- 人事異動により学校間で、学校改革、授業改善の進捗状況、職員の意識が全くちがうことを感じさせられた。まさに、ツールを作ることが目的になっており、ツールを活かした組織的な取組に課題が見受けられる。学校評価、授業改善をツールとして活用していくには、指標を教職員に浸透させる新たなシステム作り、教職員への指導・助言に努めていきたい。
- 各マネジメントツールがバラバラに見えていたが、本研修の中で、きれいにつながった。具体的な検証の仕方も見えてきた。
- 今、考えていること、課題と説明が重なり、イメージ化につながった。昨日、運営委員会で議論したことに少し修正を加えなければならない点があった。これが大きな成果だった。

### 【グループ別協議】『重点目標達成のための組織マネジメントの工夫』

- 学校運営をしていく上で大事にしなければならないものは、教職員の参画意識をどう高めるかである。そのためにも、一人一人に役割を持たせていくことを第一に考えていきたい。
- 組織づくり、学校課題の共有、学校規模にあった運営委員会の工夫等、校長としてどうマネジメントしていくか具体例をもとに意見交流できました。
- 同じ規模の学校どうしだったので、とても勉強になった。小規模校の強みを生かした学校経営をしていこうと思った。



### 【本協議会の内容を、どのように実践に活かそうと思いますか】

- マネジメントの中心理論、「取り組んでみてうまくいくことがわかたら続けましょう」という言葉を活かそうと思いました。そのためには、授業観察をし、検証をしっかりしたいと思います。もっともっと勉強します。
- まずは組織の連動を確立する。4点set + 1, 5点setはもちろんだが、授業観察についても組織的に行っていきたい。教頭、主幹の役割を明確にし、連携を密にするとともに、他の教職員との共有深化を図る。
- 取組の焦点化をはかることが必要だと感じます。より教職員が取り組みやすく、結果が見えるものにしていきたいと考える。やる気が出ました。